



第43回通常総代会開催

勝英土地改良区機関紙
第49号
平成26年8月1日発行

発行編集 勝英土地改良区事務局
岡山県勝田郡勝央町植月北3028-2
TEL(0868)38-2054
FAX(0868)38-2354

第43回通常総代会のご案内を申し上げましたところ、来賓の皆様、総代並びに理事、監事の皆様には大変お忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。本日の総代会は議案書にもありますとおり、第1号議案から第18号議案までを慎重審議の上、適切なご決定をしていただければと思いますので、宜しくお願ひいたします。

さて通常行っていますストックマネジメント事業でございますが、平成25年から30年にかけて勝英第4ということで、西原ダム・小坂頭首工・勝田水路・東部水路と事業の方は順調に進んでおります。ただ最近漏水関係が頻繁にでていますので、早い段階で対応できるよう、見つけられ次第、改良区へご連絡等お願いできればと思いますので皆様もご協力のほどよろしくお願ひします。

それから昨年末から農政局の指導により、友情給水関係の制度が変わりつつあります。27年3月の水利権更新に向けての作業が進んでおりますので、地元の皆様にも態勢を組んでいただき、今後も順調に作業が進められるようにお願いしたいと思っております。

それから最近の農業情勢を取り巻く環境、TPP等、先の農業情勢も踏まえて、この美作台地の営農を推進していく事が今後とも必要となり、土地の有効利用、水の有効利用等によって進めていかなければいけないと思います。

そういうことについては関係機関含めて皆様方の絶大なるご理解とご支援がないとなかなか進められない状況ではないかという気がしております。改良区の役職員一同も一丸となってこの方向に進みたいと思いますので、今後ともご理解の上ご指導をいただければと思います。本日はありがとうございました。

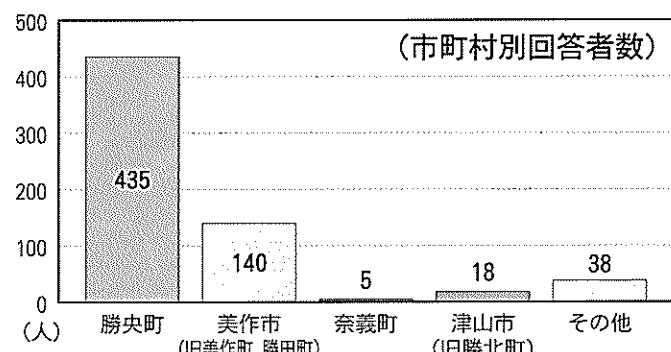
		第四十三回 通常総代会議案												
		署中お見舞い 申し上げます						第43回通常総代会議案						
		第43回通常総代会議案						第43回通常総代会議案						
第1号議案	平成24年度事業報告の承認について	▼理 事 長	岸本 圭介	▼副理 事長	江見 文夫	▼理 事	小村 雅紀	▼副理 事長	和彦 影山 真一	▼理 事	板坂 敦巳	▼副理 事長	岡本 秀樹	
第2号議案	平成24年度収支決算の承認について	東 則本	和彦 影山 真一	東 則本	和彦 影山 真一	東 則本	和彦 影山 真一	東 則本	和彦 影山 真一	東 則本	和彦 影山 真一	東 則本	和彦 影山 真一	
第3号議案	平成24年度施設整備事業引当金特別会計収支決算の承認について	▼理 事	津田 剛	▼副理 事長	(員外理事) 下山 博史	▼理 事	花房 昭夫	▼副理 事長	山本 政和	▼理 事	芦田 潤治	▼副理 事長	坂元 卓	
第4号議案	平成24年度修繕引当金特別会計収支決算の承認について	▼理 事	藤井 正英	▼副理 事長	(員外理事) 藤井 正英	▼理 事	佐古 甫	▼副理 事長	神田 康弘	▼理 事	神田 康弘	▼副理 事長	岡本 秀樹	
第5号議案	平成24年度退職給与積立金特別会計収支決算の承認について	▼理 事	東 則本	和彦 影山 真一	▼副理 事長	下山 博史	▼理 事	酒本 一弘	▼副理 事長	末田 寛司	▼理 事	坂元 卓	▼副理 事長	坂元 卓
第6号議案	平成24年度決済金特別会計収支決算の承認について	▼理 事	藤井 正英	▼副理 事長	花房 昭夫	▼理 事	佐古 甫	▼副理 事長	神田 康弘	▼理 事	坂元 卓	▼副理 事長	岡本 秀樹	
第7号議案	平成24年度財産目録の承認について	▼理 事	藤井 正英	▼副理 事長	花房 昭夫	▼理 事	佐古 甫	▼副理 事長	神田 康弘	▼理 事	坂元 卓	▼副理 事長	岡本 秀樹	
第8号議案	平成26年度事業計画案の議決について	▼理 事	藤井 正英	▼副理 事長	(員外理事) 藤井 正英	▼理 事	佐古 甫	▼副理 事長	神田 康弘	▼理 事	坂元 卓	▼副理 事長	岡本 秀樹	
第9号議案	平成26年度収支予算案の議決について	▼理 事	藤井 正英	▼副理 事長	(員外理事) 藤井 正英	▼理 事	佐古 甫	▼副理 事長	神田 康弘	▼理 事	坂元 卓	▼副理 事長	岡本 秀樹	
第10号議案	平成26年度施設整備事業引当金特別会計収支予算案の議決について	▼理 事	藤井 正英	▼副理 事長	(員外理事) 藤井 正英	▼理 事	佐古 甫	▼副理 事長	神田 康弘	▼理 事	坂元 卓	▼副理 事長	岡本 秀樹	
第11号議案	平成26年度退職給与積立金特別会計収支予算案の議決について	▼理 事	藤井 正英	▼副理 事長	(員外理事) 藤井 正英	▼理 事	佐古 甫	▼副理 事長	神田 康弘	▼理 事	坂元 卓	▼副理 事長	岡本 秀樹	
第12号議案	平成26年度修繕引当金特別会計収支予算案の議決について	▼理 事	藤井 正英	▼副理 事長	(員外理事) 藤井 正英	▼理 事	佐古 甫	▼副理 事長	神田 康弘	▼理 事	坂元 卓	▼副理 事長	岡本 秀樹	
第13号議案	平成26年度決済金特別会計収支予算案の議決について	▼理 事	藤井 正英	▼副理 事長	(員外理事) 藤井 正英	▼理 事	佐古 甫	▼副理 事長	神田 康弘	▼理 事	坂元 卓	▼副理 事長	岡本 秀樹	
第14号議案	平成26年度経常賦課金・工事分担金・家畜雑用水の賦課徴収方法及びその時期の議決について	▼理 事	藤井 正英	▼副理 事長	(員外理事) 藤井 正英	▼理 事	佐古 甫	▼副理 事長	神田 康弘	▼理 事	坂元 卓	▼副理 事長	岡本 秀樹	
第15号議案	平成26年度資金の繰替運用の議決について	▼理 事	藤井 正英	▼副理 事長	(員外理事) 藤井 正英	▼理 事	佐古 甫	▼副理 事長	神田 康弘	▼理 事	坂元 卓	▼副理 事長	岡本 秀樹	
第16号議案	平成26年度役員報酬及び実費弁償の議決について	▼理 事	藤井 正英	▼副理 事長	(員外理事) 藤井 正英	▼理 事	佐古 甫	▼副理 事長	神田 康弘	▼理 事	坂元 卓	▼副理 事長	岡本 秀樹	
第17号議案	平成26年度役員報酬及び実費弁償の議決について	▼理 事	藤井 正英	▼副理 事長	(員外理事) 藤井 正英	▼理 事	佐古 甫	▼副理 事長	神田 康弘	▼理 事	坂元 卓	▼副理 事長	岡本 秀樹	
第18号議案	役員補欠選挙について	▼理 事	藤井 正英	▼副理 事長	(員外理事) 藤井 正英	▼理 事	佐古 甫	▼副理 事長	神田 康弘	▼理 事	坂元 卓	▼副理 事長	岡本 秀樹	
（職員）	安東 由美	（事務局長）	西森 敏明	（職員）	福田 和弘	（事務局長）	西森 敏明	（職員）	村上 卓也	（事務局長）	西森 敏明	（職員）	村上 卓也	

営農に関する調査結果

～厳しい現状、未利用地の拡大が予想～

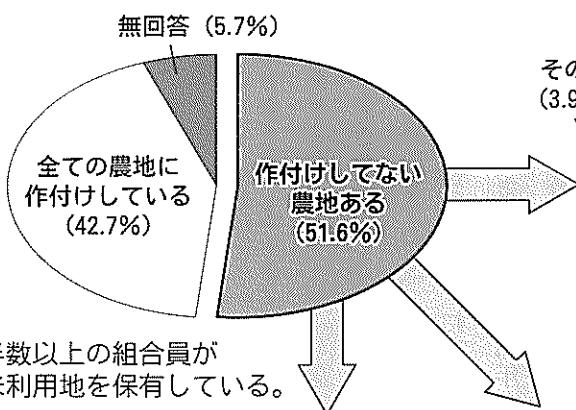
未耕作地の農地が多く見られる中、新規作物の導入や新たな担い手の発掘など、これまで以上に農地の有効活動していただく方法を検討するため、昨年8月全組合員を対象に「国営勝英地区の営農に関するアンケート」調査を行いました。組合員の皆さんから色々とご協力とご意見をいただきました。ご多忙の中大変有難うございました。厚くお礼を申し上げます。回答の中から一部分しか掲載出来ませんが調査結果を報告します。今後の営農の推進をする資料にしていきたいと思います。

(調査人数840人・回答者636人・回収率75.7%)

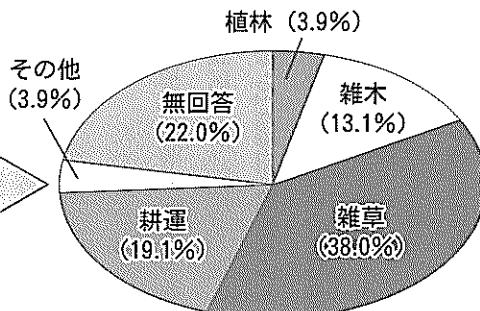


作付け状況について

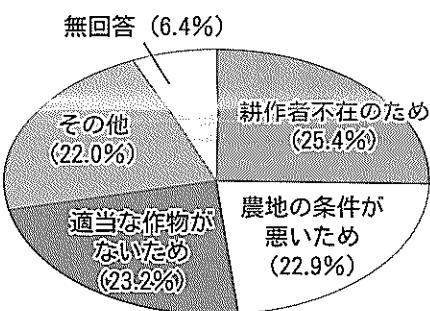
■今年の作付は?



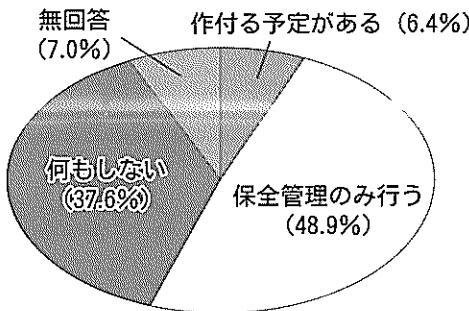
■作付けしていない農地の状況は?



■作付けしていない理由は?

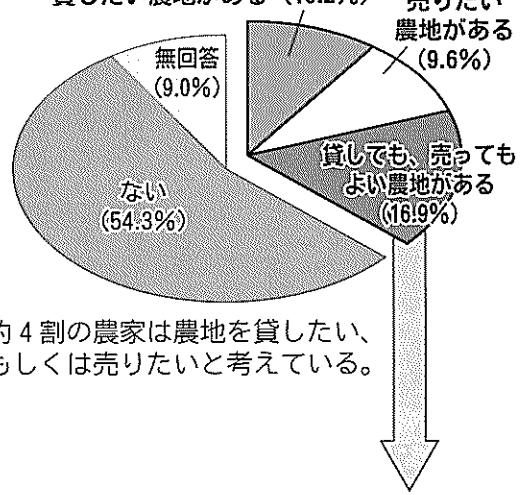


■作付けしていない農地の、今後の予定は?

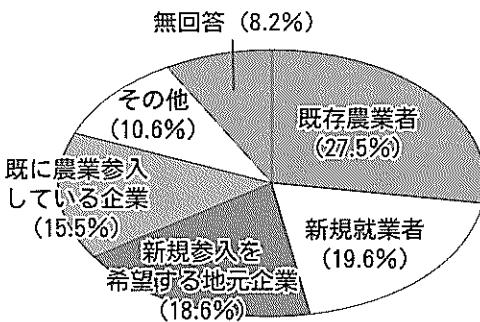


農地の貸し出し等について

■現在貸したい、売りたい農地は?

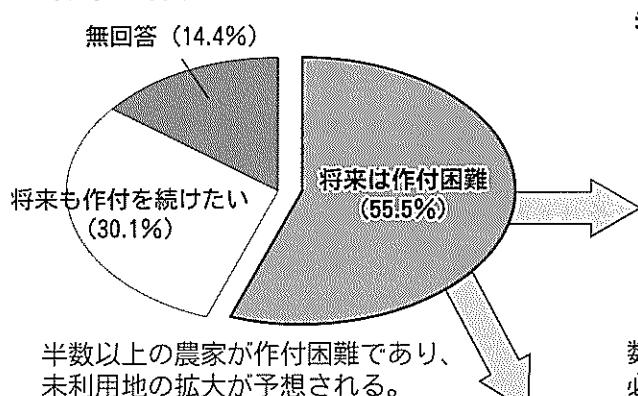


■農地の貸し出し、売る相手先は?

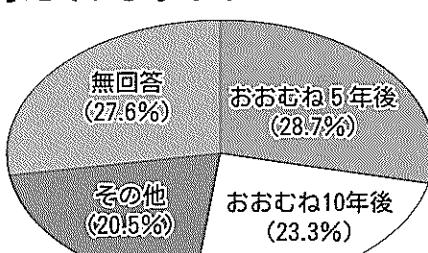


将来の作付けについて

■将来の作付について?



■いつ頃から、作付が困難になると想っていますか?



規模拡大・営農の充実について

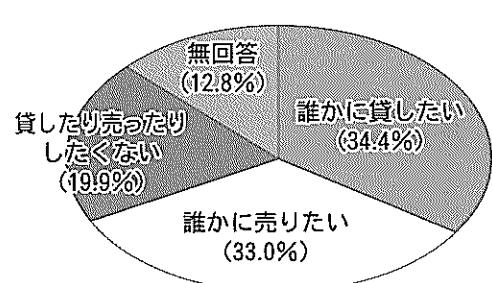
■現在、農地を借りたい、もしくは買いたい希望がありますか?

未利用地が増える中、10の方が規模拡大等を考えている。



将来の農地の貸し出し等について

■農地をどうしたいと考えていますか?



台地開発も昭和54年に完成し35年経過しました。開発当初はタバコ、牧草、ぶどう、桃、梨、野菜等々作付けされ営農意欲は旺盛であったが、現在作物も大きく変わり又、高齢化等も進み未利用地の増加が目につくようになりました。現状をしっかり把握、今回の厳しい調査結果をふまえ、厳しい農業情勢下を組合員と共に乗り切る努力を行っていきたいと考えています。

みまさか台地 営農推進会議設立

24年から関係機関で未利用地解消準備会が進められ、作物調査、アンケート調査を行い準備を進め26年3月27日設立をしました。今後関係機関が連携して営農を推進をしたいと思いますので、組合員のご協力をお願いします。

みまさか台地営農推進会議のあらまし

1. 設立目的

国営開拓パイロット事業で開発された美作台地の農地に不作付地が増加している。このため、改良区、JA、市町村、県民局が連携し、情報を収集・発信するとともに、これらを共有し、幅広い就農者の確保・育成、農地の流動化を推進することにより、農地を有効活用し農業振興を進め、地域の活性化を図る。

2. 設立理由

- 畠地の流動化や有効活用のためには、水田以上に関係機関が連携した強力な取組が必要。
- 一部の作物には大規模な経営も見られるが、実態が把握できていない。支援も不十分で大きな広がりとはなっていない。
- ぶどうや桃では新規参入者はあるが、地域としての受け入れ体制が不十分なため、参入者が少ない。
- 企業等法人からの農業参入の問い合わせに十分対応できていない。
- みまさか台地に適した作物の情報提供ができていない。
- 流動可能な農地の情報が関係機関で共有できていないため、マッチング支援ができにくい。

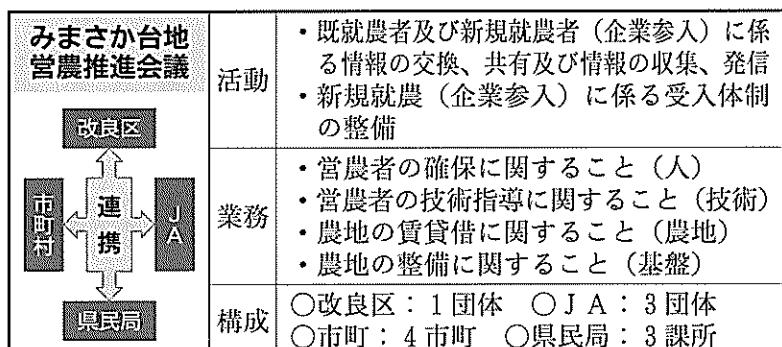
会員	所属	職	備考
勝英土地改良区	理課長	議長	
津山市勝北支所産業建設課	課長		
美作市農業振興課	課長		
勝央町産業建設部	課長		
奈義町産業振興部	課長		
J A 岡山中央会	参事長		
J A 全農おかやま	事長		
J A 勝英	事長		
美作県民局農業振興課	課長		
美作県民局農地農村計画課	課長		
美作県民局勝英農業普及指導センター	課長		

3. 台地農地の有利性

- 各場所にパイプラインによるかんがい設備が整備されており、一年を通して農業用水が使用できる。
- 農地の提供希望者は多く、賃貸借によりまとまった農地が確保できる。

関係機関の連携が必要

4. 活動・構成



具体的な活動を推進

- 推進会議の活動に必要な事項の協議及び連絡調整
- 活動内容の調査、研究及び施策立案
- 関係する一部の機関が連携した推進
- 個々の機関単独での推進
- 構成団体の担当者
- 会長が認める関係者（専門的知識を有する者等）

新規就農者のお2人の物語

横路 永吾

農業の真の楽しさを
伝えられる人間に

喜ばれる葡萄を作りたい

（美作に移住するまで）

私は美作に来るまで、東京で暮らしていました。

三十歳半ばを過ぎた頃から、東京での暮らしの息苦しさや、新陈代謝の早さ、自分の仕事の将来への不安などあり、移住を考えだしました。何年か過ぎ、同時に移住する事になる高校時代からの仲間達が、美作市の情報を仕入れ、美作に直接訪れて、市役所の方や果樹師、野菜の生産者の話を聞き、とても魅力的だったので、トントンと移住を決めました。

（美作に来て葡萄作り、就農）

就農するにあたり一番良かった事は、葡萄園を即収入になる状態で引き継ぐ事でした。しかしながら、自己資金がない自分が日々の暮らしをしのぐのは少し大変でした。未だにですが。

農業普及所の勧めもあり、農大の一般就農者向けの授業を受け、農園を引き継がせていただいた方、周りの先輩方に教わりながら、一年目の葡萄作りが始まりました。細かい事は省きますが、やはり大変でした。焦りながら一つ一つ作業を進め、なんとか無加温ハウス、ピオーネの露地共に収穫を終えると、東京で人に使われている頃には無い気持ちがありました。果樹を育てるのは楽しかったのです。

今年二年目の葡萄作りに励んでいます。去年の失敗を忘れず、自分なりの葡萄作りを模索しながら、喜ばれる葡萄を作っています。

今年から約三反に農地が広くなり、八千から九千の袋掛けになると喜び思います。将来的には、自分の技術次第ですが、五反から六反はしないといけないな、と思っています。

研修生故に、桃で生計を立てていくという確固たる自信はありませんが、就農した暁には、いろいろな作物の栽培や、木工芸、養蜂、試してみたい事は山ほどあります。飽和状態の街と比べ、ここには可能性がまだまだあります。「ミマサカンドリーム」を信じ、邁進していくと思います。

多くを輸入に頼るこの国の、せめて食料自給率だけでも上がる努力を一人一人がしていく世の中が来ますように、農業の真の楽しさを人に伝えられるような、そんな人間に僕はなってゆ

僕等家族は二年程前に、美作市の栗井に、東京から移り住んできました。

美作市役所の「ドリームプラン推進室」

から、定住促進事業の第一号として、僕等家族に白羽の矢が立てられたわけです。

冗談はともかく、この美作という地は僕が幼少期から夢に描いていたような風景が広がり、今こうして暮らしている事に至上の喜びを感じています。



岩城 未来

経理の状況

平成25年度収入支出状況

(収入の部)	(支出の部)
総予算額 58,562,000円	総予算額 58,562,000円
総決算額 57,891,608円	総決算額 56,930,498円
決算額の内訳	決算額の内訳
組合費 18,107,730円	農業管理費 22,586,736円
組負担金 14,832,800円	ダム頭首工管理費 19,404,000円
組成助金 9,683,000円	二者共同水路費 5,142,000円
補助金 1,650,000円	退職手当引当金 2,384,162円
使用料 7,083,810円	修繕引当金 0円
収入金 5,437,658円	施設整備事業引当金 7,108,000円
入金 0円	諸税負担金 305,600円
越縁金 1,096,610円	予備費 0円
収入額累計 57,891,608円 (総予算額の98.86%)	支出額累計 56,930,498円 (総予算額の97.21%)
総収入額 57,891,608円	総支出額 56,930,498円
差引残高 961,110円	

私達の施設です、皆でやさしく、道路管理に日々を向けて下さい。

暑い時ですが、管理班で道作りの計画をたてて下さい。
(班長より申請書出して下さい。)
ガソリン代、
ユース代等、
若干ですが心援します。

【家畜雑用】
(1) 家畜雑用は、使用量に基づき1m³につき組合員57円・組合員外75円の割合とし、3ヶ月毎に使用量に基づき徴収するものとする。
(2) 徴収方法は、農協口座振替、または集金とする。
(3) 工事分担金は、組合員外75円の割合とし、3ヶ月毎に徴収する。
(4) 徴収方法は、農協口座振替、または集金とする。

【工事分担金】
(1) 工事分担金は、換地事務の際に提示された面積より、法面を除いた面積に賦課する。
(2) 前項の賦課率は、10アールにつき、150円とする。
(3) 徴収する。成賦課金の徴収は、期日を過ぎると、150円とする。
(4) 徴収方法は、農協口座振替、または集金とする。

用経常賦課金・工事分担金・家畜雑用
平成26年度
農業賦課金

農協口座振替の方
8月末日までに通帳残高を
ご確認ください!

次の方、必ずご連絡下さい!

- 台地開発地の売買での名義変更
- 経営移譲や死亡での名義変更
- 届出用紙は事務所にあります。必ず書面にて提出して下さい。

新入職員紹介

4月1日、元気で明るい職員が入所しました。

皆様の温かいご支援を、切にお願いいたします。



笑顔で一生懸命頑張ります。
宜しくお願ひします。

村上 卓也 津山市院庄
岡山理科大学附属高等学校
普通科 健康・スポーツコース卒業

◆編集後記

ゲリラ豪雨や台風による災害が、九州をはじめ各地で起きています。過去には屋根の補強や田畠の見回りなどで亡くなる方がありました。

これからが台風の本番。これまでの経験や教訓を生かし、安全に備え、命を一番に行動しましょう。



誠に勝手ではございますが、下記により盆休みとさせていただきます。

ご用の時は、下記の職員宅にご連絡下さい。

8月14日(木)・15日(金) 盆休み

△休み中の連絡先

事務所携帯 090-7121-1522 (西森)
職員自宅 <西森> 0868(38)4429
携帯 <福田> 090-8716-3243
携帯 <村上> 090-5693-3253

財産の状況

平成25年度財産目録

(平成26年5月31日)

摘要	金額
(資産) 流動資産	6,610,853円
現金及び預金	961,110円
預金 中国銀行他	961,110円
在庫資材	3,569,783円
在庫資材	3,569,783円
未収賦課金(工事負担金含む)	2,079,960円
21年度分 14件	279,220円
22年度分 16件	286,340円
23年度分 17件	414,910円
24年度分 29件	505,610円
25年度分 25件	593,880円
特定資産	123,084,202円
退職給与引当金見返預金 労金・中退金	30,587,006円
修繕引当金見返預金 JA勝英	40,655,647円
決済金見返預金 JA勝英	26,906,144円
施設整備事業引当金見返預金 中銀	24,935,405円
固定資産	15,228,365円
土地・建物	4,379,921円
宅地 886.76m ²	3,000,000円
事務所・倉庫 2棟	1,379,921円
機械器具	5,761,394円
車両運搬具 3点	3,041,700円
機械工具器具 15点	2,719,694円
備品	5,087,050円
什器備品 25点	5,087,050円
資産合計	144,923,420円
(負債) 退職給与引当金	30,587,006円
修繕引当金	40,655,647円
決済金引当	26,906,144円
施設整備事業引当金	24,935,405円
負債合計	123,084,202円

区債及び借入金の状況

区債及び借入金なし

平成26年度 事業計画書

施設の管理、運用の円滑・配水計画等の調整により一層の万全を期すと共に、役職員一丸となって管理運営の充実に努めたい。

近年の農業従事者の高齢化や後継者不足等、また農業への魅力不足等で未利用地対策は深刻になってきている。この台地を有効利用できるように、更に関係機関の協力を得ながら組合員の皆様との連携を密にして、未利用地対策、収入の増大につながるよう努力していきたい。

事業については、組合員の荷重負担にならないよう、施設の老朽化に対する対策また管理体制の充実を図りたい。

その他にも、漏水調査や防災訓練等も計画的に実施し、管理体制の充実に努めたい。

農業競争力強化基盤整備事業(水利施設整備)で昨年に続き西原ダム、小坂頭首工、東部・勝田水路の整備更新工事を行うのでご協力をお願いしたい。

懸案事項である友情給水については、平成27年3月の水利権更新に合わせて土地改良区の受益地に編入し合法的に使用出来るよう進めたい。

平成26年度

農業競争力強化基盤促進事業

(旧 基幹的水利施設ストックマネジメント事業)

◎勝英第4

事業費: 1億8千万円

工事内容: { 西原ダム、小坂頭首工 } 更新
{ 東部水路、勝田水路 }

ご迷惑をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いします。